

Course number		U-LAS02 10027 LJ37					
Course title (and course title in English)		少数言語論 Minority Languages		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KAKIHARA TAKESHI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2026・First semester	
Days and periods		Mon.2		Target year		2nd year students or above	
				Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
「少数言語」という用語で扱われる対象についてその多様性を理解し、社会言語学的な視点から、社会における少数言語の存在、少数言語とその話者を取り巻く諸課題について考察する。それらに対して社会や人々がとりうる態度、政策などについて理解を深めることを目的とする。							
[Course objectives]							
「少数言語」とは話者数の問題ではなく、当該社会におけるその存在のあり方、扱われ方の問題であることを理解する。 少数言語と言語権、言語差別という概念について理解する。 言語シフト（置き換え）、言語接触、言語消失といった現象について理解する。 これらの少数言語を取り巻く現象や課題を理解した上で、具体的な言語や事象について社会言語学的な視点から分析、考察、説明できる基礎的な力を養う。							
[Course schedule and contents)]							
この授業では、少数言語を取り巻くさまざまな現象や課題について、いくつかの具体例について社会言語学の視点から考察していく。授業では以下のテーマを取り上げる予定であるが、受講生の関心や社会的に関心を集めているテーマなどに応じて適宜調整する予定である。 第1回 少数言語とは何か（講義で扱うテーマへの導入と概観） 第2回 言語のバリエーション（地域方言と社会方言） 第3回 言語接触と言語の誕生、言語の変化 第4回 言語政策とは何か（国家と言語） 第5回 地域少数言語と言語政策、公用語とは何か（スペインの事例） 第6回 地域少数言語の言語教育（スペイン・ガリシア語の事例） 第7回 地域少数言語と国家語（スペイン語とガリシア語の事例） 第8回 少数言語教育と外国語教育（スペインの英語教育） 第9回 ヨーロッパの言語政策（複言語主義について） 第10回 移民の言語と国家語（アメリカ合衆国の移民受け入れ政策と言語政策） 第11回 公民権運動と少数言語（アメリカ合衆国権利拡大の歴史） 第12回 多言語主義と積極的差別是正措置、公用語論争（権利制限の議論） 第13回 言語帝国主義と少数言語の将来（グローバル社会における英語の存在） 第14回 まとめと復習 期末試験							
						Continue to 少数言語論(2)↓↓↓	

少数言語論(2)

第 15 回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末試験（60％）と授業参加度（コメントや小レポートなど授業中に指示する課題などの提出物）（40％）に基づいて総合的に評価する。詳しくは初回授業中に説明する。

[Textbooks]

Not used

スライドを用いて授業を行うが、適宜プリントも配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

スライドで紹介する文献などを積極的に読んで下さい。

[Study outside of class (preparation and review)]

別途通知

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワーをもうけていますが、できるだけ事前にご連絡ください。

[Essential courses]